技術資料＃58

トラブルシューティング

煙の戻り

これは解決するために考えられる原因が多く、難しい問題であると言えます。しかし、覚えておいてほしいのですが、煙を安全に放出することは、ストーブではなく煙突の仕事です。

EPA ストーブは初期の非気密のストーブに比べるとはるかに効率的です。したがって煙突の必要条件も以前のタイプとは異なります。なぜなら、高性能のため、熱は（煙に含まれる微粒子量のデータから）煙突からほとんど損失されません。
古い暖炉の煙突をそのままで、新しいストーブだけインストールしても、良い効率が得られるわけではなく、煙突に適切なライナーや断熱を施す必要があります。
もし、ストーブのシールが完全でなかったとしても、煙突が適切に作動していれば、煙は外部に漏れることはありません。

原因	解決方法
煙突が短い	最低の煙突の長さは4Mですが、煙突の最低の高さの必要条件を満たしているか確認してください。
太い煙突	ストーブには適した煙突のサイズがあります。そのデザインに逆らい太い煙突に接続すると、煙の滞留時間が長くなり完全燃焼を促進することができません。適切なサイズに交換してください。
煙突の詰まり	詰まりの原因を取り除きます。必要であれば掃除を行ってください。
多くの曲がり	多数のエルボ使用は空気の流れに抵抗を与えます。2 個以上のエルボ使用は避けてください。 90° エルボの代わりに45° エルボを2個使用してください。 90° Tやエルボは、高すぎる煙突や太い煙突と同様のドラフト問題を引き起こします。
横引き	長い水平の横引きも煙の引きに影響します。 コネクター1 フィートあたり 1/4 インチの角度をつけて上げてください。
冷却	断熱材使用の煙突に交換してください。
風の影響	煙突の高さを確認してください。最低の長さは4mです。 スタンダードキャップからウィンドシールドキャップに取り替えてください。
1 本の煙突に1台以上のストーブを接続している	ストーブを1台だけにし、接続コネクターを分離し塞いでください。 **決して**他で使用している煙突に薪ストーブを接続しないでください。

煙の逆流	煙突の使用を中止するか、修正してください。 多くの場合外部煙突の冷却が原因です。
ドアを開ける前の操作	薪を補充するとき、ドアを開ける前に空気取り入れレバーを全開にしてください。(ダンパーが取り付けてある場合はダンパーも開いてください。) ドアはゆっくり開けてください。完全にドアを開ける前に数センチドアを開いてから開けるようにしてください。 高いセッティングの時に操作してください。温度が低い場合、煙突が上昇気流を作成するのに十分な温度を確立しないかもしれません。
生木や濡れている薪	湿気及び生木は効率を減少させ、ストーブの出熱を縮小し、煙の量を増加させるでしょう。常に乾燥材をお使いください。
気密性の高い住宅	燃焼のために外部の空気を取り込むために、オプションの外気導入アダプターを使用してください。
台所の換気扇等の排気ファン	家の中が負圧である場合、ストーブのドラフトは起こりません。 近年の住宅は気密がよく、燃焼プロセスの中で使用される空気量より、交換される空気量が少ない傾向があります。建物の最下層は家の中で最も負圧になります。台所の換気扇は 900 立方フィート/分を超え、バスルームの換気扇等を加えると更に家から空気が除かれます。 燃焼に必要な十分な量の空気があれば、ストーブは適切に機能します。オプションの外気導入アダプターを使用してください。
周辺の樹木や建物	風圧帯に入り負圧を引き起こすようであれば、樹木はカットする必要があります。建物の場合は設置前に検討されるべきです。
減圧	上階の床を耐候性をつけるために密閉することによって、冷たい空気が低い部分に下がるよりも、上階からより多くの暖気が出で行くような場合、減圧が引き起こされます。

備考:
改善策は煙突の必要条件に反しないことです。家の中の圧力ゾーンをふまえ、ストーブの設置位置を決定してください。中立圧力ゾーンより下回る場所への設置はしないでください。